

SNSが活きる新しいプロモーションのかたち [クラウド型デジタルサイネージ]

放映期間: 2017年11月27日(月)~12月3日(日)

SNS × デジタルOOHで、 オンラインの盛り上がりをリアルな場所で。



OOHの未来形で、 駅のメディア化・コミュニティ化が進む。

朝日放送株式会社

今年もM-1グランプリがやってくる。

年末、お笑いファン待望のイベントといえば、漫才の日本一を決める「M-1グランプリ(以下、M-1)」だ。M-1優勝を目標とする若手芸人も多く、予選から決勝までに生まれるドラマの数々もM-1の魅力だが、メディアが多様化した今日では、そうしたプロセスはファンの間でのみシェアされるのがここ数年の傾向だった。しかし2017年は違った。11月下旬、決勝進出を決めた芸人たちの紹介が都内数カ所の「駅」で流れはじめたのだ。と同時に、M-1の行方を見守るファンのメッセージも駅という公共の場で放映されはじめ、道行く人は誰かれとなく「M-1の季節か」と気づかされた。

カウントダウンの声にファンの応援が重なる。

決戦日が近づくにつれ、駅のサイネージから流れるコメントも熱を帯びてくる。実はこれ、共通のハッシュタグで複数のSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)上に投稿された画像やメッセージを横断的に集約し、配信しているもの。アメリカ発のTagboardというしくみ(下図参照)を使い、ほぼリアルタイムでSNSの情報

が放映される。公式アカウントからは決戦日までのカウントダウンや出場者プロフィール、ファンからは順位の下馬評や好きな芸人の優勝祈願など、それぞれの視点でメッセージが飛び交い、相乗効果でM-1を盛り上げる。



投稿を管理・セレクトする画面



実際のサイネージ画面

王者決定の瞬間をリアルタイムで分かち合う。

そして決戦当日。開始時間が近づくにつれSNSへの投稿も勢いを増し、出場者とともにファンの間にも期待と緊張が広がっていった。これまでパソコンやスマートフォンの中だけで展開されてきた「リアルな声」を即時にアウトドアメディアに反映するのはメトロの媒体としてもはじめての取り組み。2017年の王者決定の瞬間、駅サイネージの周りでは映し出された投稿で初めて結果を知った人々からの驚きの声や喜びの声が上がった。普段は通り過ぎるだけの場所・駅の一角に、オンラインの盛り上がり効果が効果的にシェアされた瞬間だった。

Tagboardを活用したSNSリアルタイム放映のしくみ



既存メディアを横断させると同時に、OOHの活用で街の声を可視化する。

M-1グランプリのようなイベントでは、全体の盛り上がりが重要です。テレビ、雑誌、ネットといった個別のメディアで訴求していくことは別に、今回のOOH施策では、一般の人々の声を拾い、可視化しました。そうすることで多くの人々を巻き込み、世の中で「盛り上がっている」という印象と、「今年のM-1も面白かったね」という結果を生み出すことができたと思っています。

世の中的に「盛り上がっている」という印象をつくることができ、それが25%という高視聴率につながったのだと思っています。

朝日放送株式会社
宣伝プロデューサー
辻 史彦様



Tagboardの仕組みはとてもシンプルです。今後、ネット環境につながるOOHがもっと増えれば、Tagboardの可能性も広がっていきます。

Tagboard Japan株式会社
Business Development
渡辺 美南様



シンプルなテクノロジーでコンテンツの魅力を最大限に引き出す。

今回のような短期的なイベントでも、長期にわたるキャンペーンでも、使い次第でバズを作れるのがTagboardの強みですが、ハッシュタグ自体が広く知れ渡っていないと投稿があまり集まりません。そういった意味で、「M-1グランプリ」というハッシュタグはイベント自体の名前で普及しているため、多くの方が投稿しやすかったと思います。

インフラ・体制の整備を進めてメディアの価値を高めていきたい。

リアルタイム性、ニュース性が媒体に求められています。Tagboardさんの技術を使うことで、今までは同様のことをしようとすると数十分～数時間のタイムラグがあった更新作業も即時に対応が可能となり、情報の鮮度は飛躍的に高まりました。今後は媒体社側でシステムに対応する媒体面を増やしたり、広告審査のプロセスを見直すなど、インフラ整備を進めていきたいと思っています。

公共交通機関としてのセキュアな環境は維持しつつ、駅が利用者にとって有用なメディアとして進化していくように体制を整えていきたいです。

株式会社メトロアドエージェンシー
媒体戦略局 浜田 恭子



プロモーションの流れ



今回の媒体は… [クラウド型デジタルサイネージ]

東京メトロの虎ノ門駅、新宿駅、赤坂駅の3駅に設置された横型のデジタルサイネージです。クラウド型の配信システムを実装することで、web上のコンテンツとの連携や、よりリアルタイムなコンテンツ配信が可能なメディアです。
※詳細はお問い合わせください。

